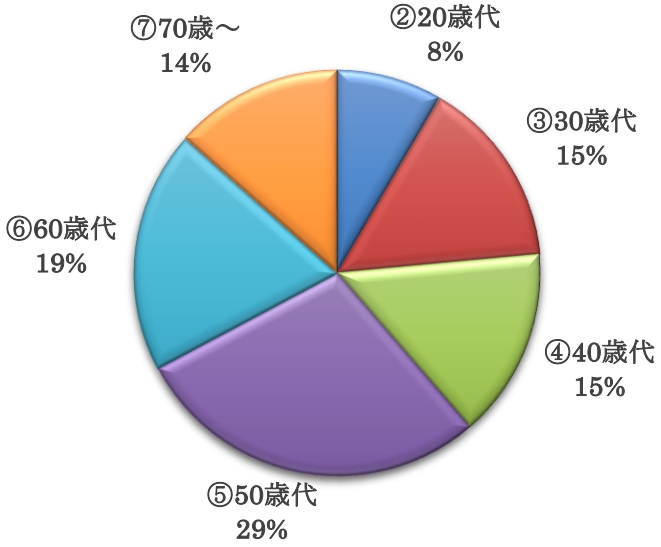
市民アンケート集計結果

アンケート名　「生ごみを減らすためにできることは？についてのアンケート」
実施期間　令和６年７月 19 日～令和６年８月 31 日
回答者数　119 人

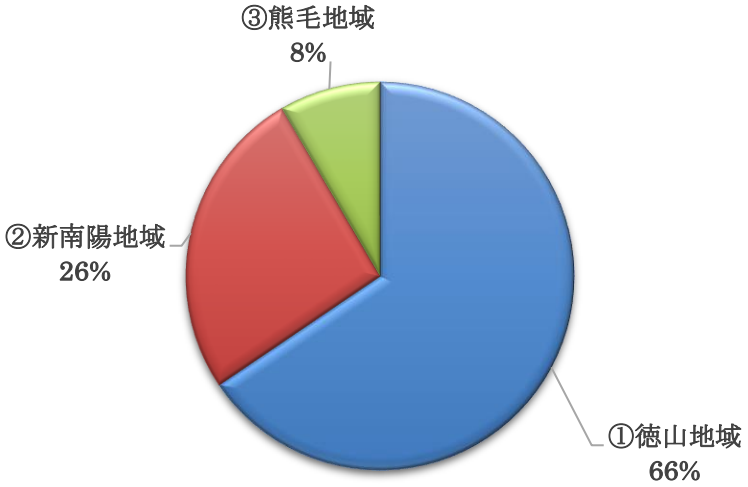
Ｑ１：回答者の年齢を教えてください

選択肢	回答数
①～19 歳	0 件
②20 歳代	10 件
③30 歳代	18 件
④40 歳代	18 件
⑤50 歳代	34 件
⑥60 歳代	23 件
⑦70 歳～	16 件



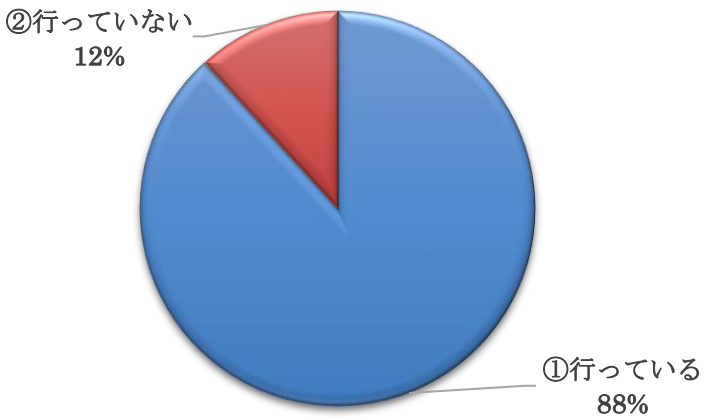
Ｑ２：Ｑ２住んでいる地域を教えてください

選択肢	回答数
①徳山地域	78 件
②新南陽地域	31 件
③熊毛地域	10 件
④鹿野地域	0 件

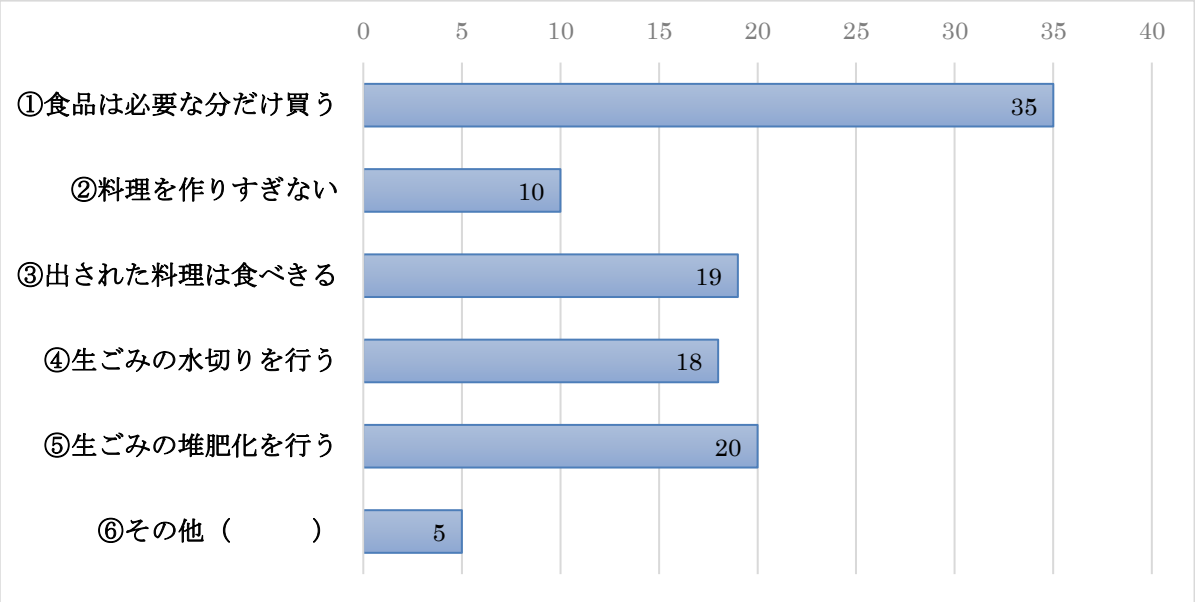


Ｑ３：生ごみを減らすための対策を行っていますか

選択肢	回答数
①行っている	105 件
②行っていない	14 件

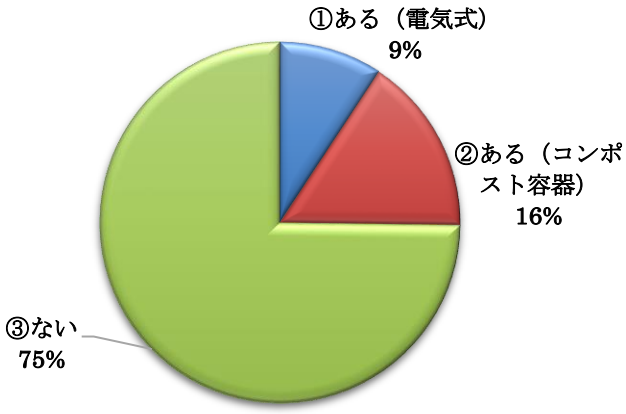


Ｑ４：Ｑ３で「（１）行っている」と回答した人は、あなたが行っている生ごみを減らすための対策は何ですか

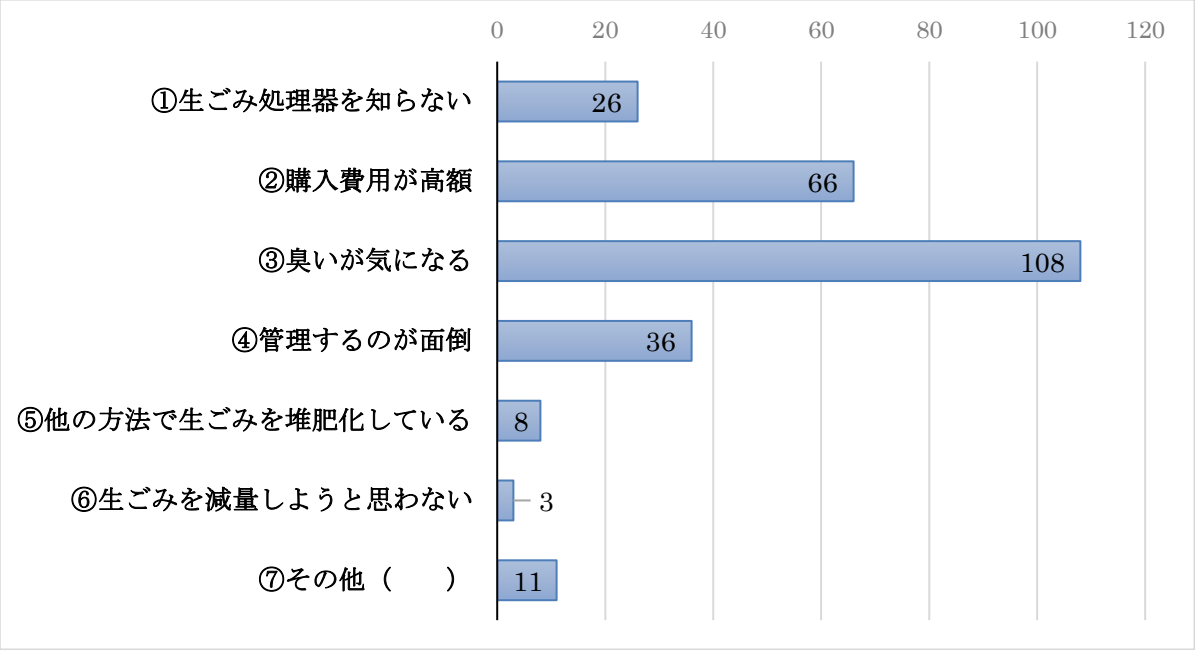


Ｑ５：生ごみ処理機器を使用したことがありますか

選択肢	回答数
①ある（電気式）	11 件
②ある（コンポスト容器）	19 件
③ない	89 件



Ｑ６：Ｑ５で「③ ない」と回答した人は、 理由を教えてください（複数回答可）

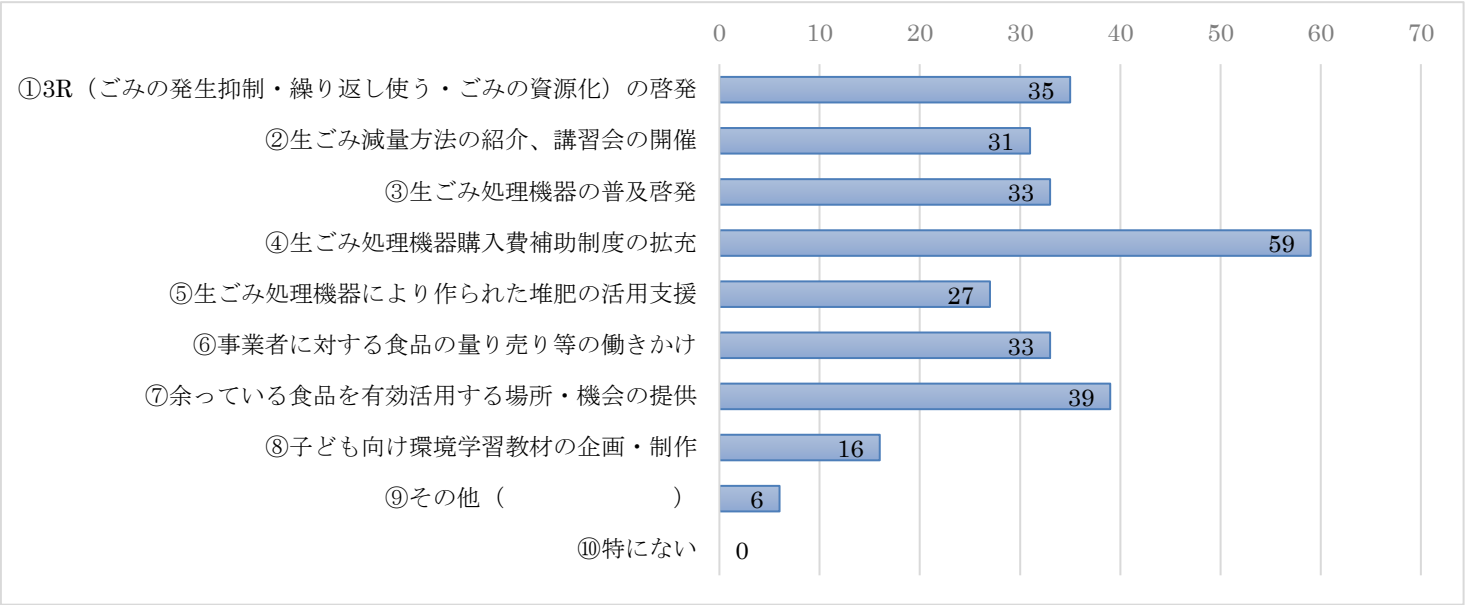


Ｑ７：Ｑ６で「⑦　その他」を選択した人は内容を教えてください（一部紹介）

・どこで購入できて、どのくらいのスペースが必要で、どのくらい減量できるのか有効性が分からない。

・置く場所がない。

Ｑ８：生ごみを減らすために、どのような制度や仕組みがあればよいと思いますか（複数回答可）



Ｑ９：Ｑ８で「⑨ その他」を選択した人は内容を教えてください（一部紹介）

・ごみ袋の有料化への検討協議。

・減量化推進のための意識改革。

・生ゴミを少なくするための、野菜の皮などを使った料理のレシピの紹介や料理教室の開催。

・生ごみを減らす対策や政策がなぜ必要なのか、具体的理由を広報する。

・公共施設や学校で動物を飼育し、廃棄されるはずだった食品類を飼料として活用。

・専門家からの意見回収。